溶出試験

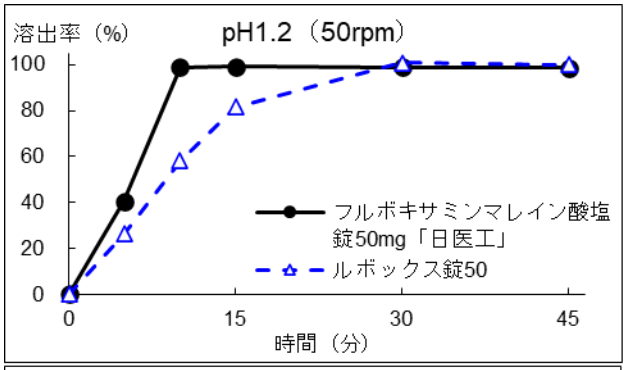
フルボキサミンマレイン酸塩錠50mg「日医工」

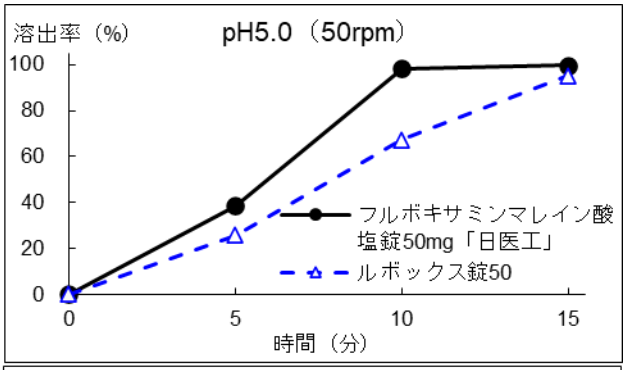
溶出試験条件

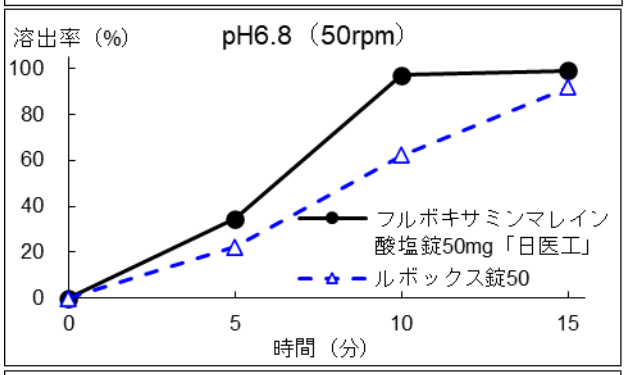
装置	日本薬局方 溶出試験法 パドル法	液量	900mL	温度	37±0.5℃

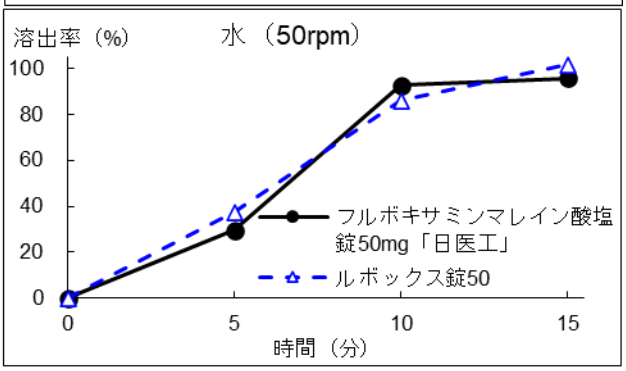
溶出試験結果

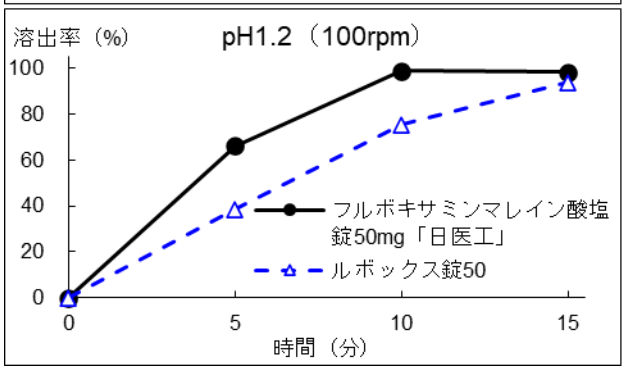
回転数	試験液	判定
50rpm	pH1.2	f2関数の値は42以上であった。
	pH5.0	標準製剤及び本品はともに15分以内に平均85%以上溶出した。
	pH6.8	標準製剤及び本品はともに15分以内に平均85%以上溶出した。
	水	標準製剤及び本品はともに15分以内に平均85%以上溶出した。
100rpm	pH1.2	標準製剤及び本品はともに15分以内に平均85%以上溶出した。
フルボキサミンマレイン酸塩錠50mg「日医工」の溶出挙動を標準製剤（ルボックス錠50）と比較した結果，上記全ての条件において「生物学的同等性試験ガイドライン」の判定基準に適合した。		


溶出率（%）
pH1.2（50rpm）
100
80
60
40
20
0
0
15
30
45
時間（分）
フルボキサミンマレイン酸塩錠50mg「日医工」
ルボックス錠50


溶出率（%）
pH5.0（50rpm）
100
80
60
40
20
0
0
5
10
15
時間（分）
フルボキサミンマレイン酸塩錠50mg「日医工」
ルボックス錠50


溶出率（%）
pH6.8（50rpm）
100
80
60
40
20
0
0
5
10
15
時間（分）
フルボキサミンマレイン酸塩錠50mg「日医工」
ルボックス錠50


溶出率（%）
水（50rpm）
100
80
60
40
20
0
0
5
10
15
時間（分）
フルボキサミンマレイン酸塩錠50mg「日医工」
ルボックス錠50


溶出率（%）
pH1.2（100rpm）
100
80
60
40
20
0
0
5
10
15
時間（分）
フルボキサミンマレイン酸塩錠50mg「日医工」
ルボックス錠50